

養護教諭とスクールソーシャルワーカーの専門職が協働した 保健室経営の実証的研究



氏 名 上原 美子 教授

所 属 共通教育部

U R L <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=258ue>

研究分野 ・ 学校精神保健
・ 養護教諭育成

キーワード

養護教諭,保健室経営,教員のストレス,ヤングケアラー,専門職連携
スクールソーシャルワーカー

研究シーズの概要

子どもたちの健康課題及び問題行動等の背景には、自身の心身の問題とともに家庭、友人関係、様々な生活環境が複雑に絡み合っていることがうかがえます。また、子どもたちが置かれている状況や捉え方も個々に異なり、本人に対する働きかけだけでは問題解決が難しいことも考えられます。そのため子ども自身の意向を尊重しながら、その家族を含めた支援を進める必要があります。また、こうした周囲への働きかけや問題の解決には、学校組織の力だけでなく、外部の人材資源の活用や関係諸機関との連携がなにより大切です。

そこで、本研究では子どもたちを取り巻く諸問題に対応するために、社会福祉の専門的知識や技術を有し、背景にある生活面の支援にあたるスクールソーシャルワーカーと生涯にわたる健康の保持増進に責任のある養護教諭による事例検討会を開催し、それらを踏まえた保健室経営案の作成を目指しています。

共同研究のご提案

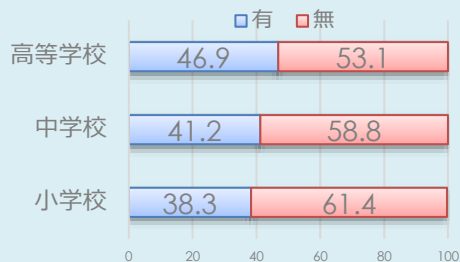
養護教諭とスクールソーシャルワーカーが協働した事例検討会及び保健室経営案の作成

特定講座のご提案

(1) 社会福祉の視点を取り入れた養護教諭
スクールソーシャルワーカーの協働を可視化
した事例検討会の企画・開催

- ① 家庭環境・貧困問題
- ② ヤングケアラー
- ③ 児童虐待
- ④ 不登校 など

養護教諭とスクールソーシャルワーカーとの
定期的な連絡・打合せの有無



引用:(公財)日本学校保健会 保健室利用状況に関する調査報告書
平成28年度調査結果

アピールポイント

今まで、養護教諭のストレス対処、働き方の研究を重ねてまいりました。今後はさらに養護教諭が行う「保健室経営」に専門職との連携を取り入れた研究を進めてまいります。